

令和7年度 高松市外部評価結果（速報）

事業 番号	事業名等	担当課	評価結果
1	高松市学校給食における地場産農畜水産物利用拡大事業補助金	農林水産課	改善
	当初、生産者支援を目的に開始された事業であるが、食育や地産地消などにも効果がある、意義のある事業と考える。 更なる、事業効果の向上のため、授業で学んだ地元食材やメニューを給食で提供するなど、特別感のある工夫ができれば、子どもの記憶に残り、帰宅後の会話を通じた、家庭での食育意識の醸成や地元食材の需要喚起につながり、ひいては、本補助金の所期の目的である生産者支援にも資するのではないかと。 より、効果的な事業とするため、保護者アンケートの手法や家庭への情報伝達の仕組みなどについて、関係者で検討する必要がある。		
2	高松市交通安全母の会連絡協議会補助金	くらし安全安心課	継続
	交通安全母の会発足当初の主要な目的である「子どもの交通事故防止」については、同会の熱意のある取組により改善しており、その所期の目的は一定達成されたものと考えられる。 その一方で、地域の高齢者世帯を訪問し、交通安全啓発を行うなど、活動形態を発展させつつ、地域コミュニティの強化にも寄与する役割を担ってきており、同会の活動は現在でも有意義であると考ええる。 今後においては、課題である担い手不足解消や、活動の更なる活性化に向けて、高松市交通安全都市推進協議会や老人クラブを始めとする地域活動団体との連携を、これまで以上に強化していくことが必要である。		
3	高松市文化芸術活動補助金	文化芸術振興課	改善
	行政が文化芸術に係る事業内容の審査をすることが難しいことは理解できる。今後、地域アーツカウンスルに補助金交付事務を委託する場合には、市のガバナンス体制を十分に確保しておくことが重要である。 また、地域に根差した既存団体の活動は、本補助金により支えられている面もあることから、既存団体の持続的な活動支援についても配慮する必要がある。 補助金の公平性及び透明性を確保するため、交付決定先を公表する必要がある。		
4	児童福祉施設賠償責任保険補助金	こども保育教育課	改善
	保育所における保育は市が行うこととされており、その一部を私立保育所が担っていることから、少額ではあるものの、本補助金の意義はあるものとする。 しかしながら、補助額と比較して、交付事務に係る手間が大きいと、私立保育所及び市職員の双方にとって、簡素で効率的・効果的な補助となるよう、関係保育所の意向も確認しながら検討する必要がある。		